三井住友建設 社長に近藤氏

近藤氏

三井住友建設（東京都中央区）は2月10日の取締役会で、近藤重敏・取締役専務執行役員が代表取締役社長に就任する人事を決めた。新井英雄社長は、代表取締役会長に就く。いずれも4月1日付。

近藤重敏氏（こんどう・しげとし）88年東京大学経済学部卒、住友銀行（現・三井住友銀行）入社、15年三井住友銀行名古屋法人ソリューションセンター長 法人戦略部長、17年三井住友建設理事 企画部・関連事業部担当、18年常務執行役員企画部長、19年専務執行役員（現）、同年取締役（同）、20年経営企画本部長（同）。愛知県出身。55歳。

駒井ハルテック 社長に中村氏

中村氏

駒井ハルテック（東京都台東区）は2月12日の取締役会で、中村貴任・代表取締役専務兼専務執行役員が代表取締役社長に就任する人事を決めた。田中進社長は、代表取締役会長に就く。いずれも4月1日付。

中村貴任氏（なかむら・たかひで）83年大阪市立大学商学部卒、駒井鐵工所（現・駒井ハルテック）入社、05年財務部長、09年執行役員、10年執行役員財務部長、13年管理本部長（現）、14年取締役、16年常務取締役兼常務執行役員、18年専務取締役兼専務執行役員、19年社長補佐（同）、20年代表取締役専務兼専務執行役員（同）。和歌山県出身。61歳。

長大など８社 協定結ぶ

福島・南相馬市、浪江町、双葉町と

復興とまちづくりへ

3・11から10年

企業と自治体が手を携え、東日本大震災からの復興とまちづくりを―。

長大（東京都中央区、永治泰司社長）など企業8社（注）は、福島県南相馬市、浪江町、双葉町との間で「福島県浜通り地域における新しいモビリティを活用したまちづくり連携協定」を結んだ。

8社が持つ資源、先進技術やノウハウを生かしながら、復興と、3自治体が目指す夢と希望のある未来のまちづくりを、地域住民と共に進める。

具体的には、新たな移動手段となるモビリティサービスの構築、再生可能エネルギーの利・活用による低炭素化の取り組みのほか、コミュニティの活性化と強靭化の領域でも協業し、持続可能なまちづくりを目指す。

双葉町は原子力事故により、今も全町民が避難を余儀なくされている唯一の自治体。

注 長大のほか、日産自動車、フォーアールエナジー、福島日産自動車、日産プリンス福島販売、イオン東北、日本郵便東北支社、ゼンリン。

三菱マテリアル子会社と統合

大日本コンサルタント 業務領域拡大へ

大日本コンサルタント（東京都千代田区、新井伸博社長＝略称NE社）は2月12日、三菱マテリアル（同、小野直樹社長）の連結子会社・ダイヤコンサルタント（同、野口泰彦社長＝略称DC社）との間で、共同株式移転の方式により、両社の持株会社となるDNホールディングスを設立し、対等の関係で経営統合すると発表した。株主総会の承認などを経て、2023年頃の合併を目指す。

DC社は資源系の地質調査で始まり、現在は地質や地盤などに強い総合建設コンサルタントとして、土木設計の業務も行っている。

一方、NE社は橋梁の調査・設計などコンサルティング業務を目的に設立された。現在はやはり総合建設コンサルタントとして活動し、民間やエネルギーなど新しい事業領域への拡大を進めている。

そこで、両社の人材や技術など経営資源を統合することで、成長力強化や受注拡大、さらに新規事業への参入可能性を向上させることにした。

橋に魅せられて

TSを手に

千代田測器
執行役員 ソリューション営業部
営業統括部長
平原 幸男 さん

2018年秋、東京都江東区のIHIインフラ建設本社。「湖陵多伎道路多伎PC上部工事」の打ち合せ会議に臨んでいた。CIMモデルの4次元化とトータルステーション（TS）を、国内で初めて組み合わせる技術の検討。会議での的確で具体的な発言と柔和な姿が印象に残ったと、参加者から聞いた。

東京・豊島区生まれ。出版社の営業職で人脈作りと新規開拓を学ぶ中、「取り扱う金額が大きな仕事をしたい」と思った。30社の試験を受け、すべてで採用通知を得たが、しっくりくる会社がない。24歳で選んだ今の会社。面接で「新規開拓に挑みたい」と言うと、先代社長は「力を尽くしなさい」と応えてくれた。

TSの高精度機を手に、トンネル工事の内空変位量の自動調査の提案から始めた。5年弱、全国のゼネコンの現場を歩いて実績を重ねたが、客先のニーズが掘削機の自動制御にシフト。会社の規模として対応できなくなった。

活路を見出したのが、橋の世界。飛び込みで測量機器を預かるサービス提案を始め、応じてくれたのがピーシー橋梁（現・IHIインフラ建設）だった。「測量機400台全部を御社と君に任せる」と言ってくれた。

新規開拓 これまでも これからも

出荷・回収・メンテナンスの流れを運用するうち、現場に出向く回数が増えた。その度に「何を求めていますか」と尋ねることが、コンクリート打設床版の管理システム「コンクリートナビ」の開発につながった。

11年、さがみ縦貫相模原IC・Fランプ橋上部工事では、同ナビを持って現場に張り付いた。夏の暑さ、桁を張出す時の高さを実感。橋の面白さ、やりがいも感じた。それ以来、PC・鋼橋専業者との太い関係を築いている。

「新しいものが好きなだけ」と謙遜するが、新規開拓への情熱は色あせない。昨年4月から現職で、全営業マンを統括している。「景気に左右されず、好きなことに没頭できる。そんな環境を部員に提供したい」。

高校生の1人娘とは、映画を2人で観に行く仲。「財布だと思っているのかも知れませんが」と笑った。46歳。

人事（橋梁関係分）

熊谷組（4月1日付）▽代表取締役・土木全般技術担当（取締役土木事業本部長兼土木事業本部鉄道プロジェクト推進本部長（関西支店長）▽専務執行役員、岡市光司▽専務執行役員（常務執行役員）北陸支店長、岸研司▽同・首都圏支店長（常務執行役員東北支店長）大野雅紀▽常務執行役員名古屋支店副支店長）柏原貴彦▽同・関西支店長（執行役員）若林誠▽北海道支店長（経営企画本部長）執行役員、川村和彦▽執行役員・首都圏支店副支店長兼同支店関東建築事業部長（同支店次長）増森秀樹▽同、土木事業本部副本部長、小野哲男（6月下旬）▽取締役、専務執行役員建築事業本部長兼プロジェクト対策室長、上田真▽同、専務執行役員土木事業本部長兼土木事業本部鉄道プロジェクト推進本部長、岡市光司▽同、岡田茂▽同、桜木君枝

建設技術研究所（3月25日付）▽取締役会長（代表取締役会長）村田和夫▽取締役副会長（代表取締役副社長執行役員兼東京本社長）寺井和弘▽代表取締役専務執行役員（取締役専務執行役員）企画・営業本部長、西村達也▽専務執行役員東京本社長（常務執行役員技術本部長）取締役、名波義昭▽常務執行役員（執行役員）企画営業本部副本部長、藤原直樹▽執行役員、日総建社長、濵田幸一（4月1日付）▽技術本部長（東北支社長）常務執行役員、前田信幸▽常務執行役員・東京本社副本社長（執行役員・企画営業本部副本部長）江守昌弘▽同・東北支社長（同・東京本社副本社長）天野光歩▽執行役員・技術本部首席技師長（東北支社次長）小畑耕一▽同・大阪本社副本社長（大阪本社次長）石田裕哉▽同・東京本社副本社長（東京本社次長）西山勝栄▽同・企画・営業本部副本部長（同）森藤敏一

JFEホールディングス（4月1日付）▽JFE商事社長（同副社長）小林俊文▽執行役員総務部・企画部担当（企画部長）北島誠也▽（6月22日付）取締役、小林俊文▽常務執行役員、田中利弘▽専務執行役員（常務執行役員）総務部・法務部・人事部・国内支店・東京営業部兼スマートアグリ事業推進部担当、林周一郎▽社会インフラ本部改築事業部長、社会インフラ本部プロジェクト営業部・技術開発部・橋梁事業部・鉄構インフラ事業部兼津製作所担当、三井田洋介▽技監（北日本機械代表取締役社長）高橋哲雄▽同（リサイクル・発電事業本部電力ビジネス事業部長）小賀坂善久▽北日本機械社長（JFEエンジニアリング・社会インフラ本部橋梁事業部長）岡田泰三

鉄建（4月1日付）▽専務執行役員技術総合センター兼建設技術研究所長（常務執行役員土木本部副本部長（土木技術担当）松岡茂▽常務執行役員（執行役員）東京支店副支店長、魚谷和亮▽同（同）土木本部・建築本部海外事業推進室長兼土木部長、小室好孝▽同・経営企画本部長（同・大阪支店長）東海林直人▽同（執行役員）土木本部担当、林淳▽同（同）鉄道統括室長、竹内研一▽執行役員・札幌支店長（同支店次長兼建築営業部長）鈴木謙治▽同・関越支店長（建築本部建築企画部長）舟嶋啓邦▽同・大阪支店長（土木本部土木企画部長）山田秀雄▽同・東北支店長（土木本部土木部長）猪塚武志

富士ピー・エス（4月1日付）▽経営企画室担当（建築本部長）取締役執行役員副社長、田中恭哉▽安全品質管理室長（常務執行役員管理本部長兼経理部長）取締役、江里口俊郎▽九州支店長（関東支店長）上席執行役員、油田康生▽広島支店長（関西支店長）上席執行役員、泉隆士▽上席執行役員・土木本部副本部長兼鉄道事業部副事業部長（執行役員東北支店長）古賀順一▽同・関西支店長（執行役員兼同副支店長）鉄道事業部長田中政章▽調達センター長、執行役員経営企画室長、小宮久文▽関東支店長（同副支店長）執行役員、辻裕治▽執行役員、技術センター長兼研究所長、左東有次

三井住友建設（3月1日付）中部支店環境安全部長、青木吉爾

三菱マテリアル（4月1日付）▽執行役常務セメント事業カンパニープレジデント（執行役員同カンパニーバイスプレジデント）平野和人